

# まちがど トピックス



## ■きれいな水に大変身！

9月26日、トピックス（きらめき創造館）で、科学実験講座「クリーンウォーター大作戦」が開催されました。

同講座はアイリス（大阪府立大学理系女子大学院生チーム）の学生と一緒に、綿や砂、活性炭などを使って作成したろ過装置にさまざまな液体を入れて、きれいな水を作れるか実験してみようというもの。参加した子どもたちは液体がどう変化するか真剣に観察していました。



## ■繊細な作業と彩色を楽しむきりえ

9月27日、きらめきファクトリーで、「きりえワークショップ」が開催されました。

同ワークショップは、台紙となる紙を図案通りにデザインナイフで切り抜き、その後に色を付けるという2つの工程で作品を完成させるもの。

参加者は講師から切り方のコツを聞きながら繊細な切り抜き作業をした後、「この部分には少し白い色をいれようかな」とぼかし染めの和紙の色合いをうまく使って色付け作業を楽しんでいました。

## ■実りの秋に旬を満喫

10月3日～4日、農業公園サバーファームで、恒例の「秋の収穫祭」が開催されました。

期間中は、天気にも恵まれ、ピーマンやコマツナなどの旬の野菜の収穫体験や稲刈り体験、スーパーカーによるラリーイベントなどが実施されました。

サトイモ収穫体験では親子らで協力し合ってサトイモを掘り起こし、秋の実りを肌で感じながら収穫を楽しんでいました。



## 写真とともに見る9月～10月のできごと



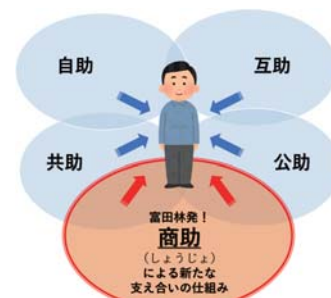
# SDGs 未来都市 富田林市の「TOMAS事業」 でいきいき暮らそう！

内閣府より「SDGs 未来都市」として選定を受けた本市では、「富田林発！『商助』によるいのち輝く未来社会の実現プロジェクト」として、産官学医包括連携協定（TOMAS）を中心に「いのち輝く“まちまるごと”健康プロジェクト」を展開し、経済・環境・社会の三側面をつなぐ統合的取り組みを進めています。

商業の視点から健康増進を進める仕組みを「商助」と名付け、まずは一部のモデル地域で開始し、段階的に拡大していきます。皆さんが楽しく参加しているうちに元気になれる仕組みをめざします。

## 「商助」とは

地域の店舗や福祉施設などの民間事業者が、ビジネスモデルとして事業に参加しながら地域の課題解決につなげる仕組みのことをいいます。



## 現在進めている「商助」の取り組み例



市内の既存のウォーキングコースに加えて新たなコースを設定し、さまざまな地域にお住まいの人がウォーキングコースを利用できるようにします。



市内各地に体組成計を設置し、定期的に体重、体脂肪率、筋肉量などを測定できるようにします。社会的モデル事業としての本事業への参加者を募り、参加者には、活動量計を持って日常的にウォーキングをしてもらいます。

市内各地に設置した活動量計リーダーに活動量計のデータを読み込ませることによりポイントが貯まり、運動の効果をデータとして蓄積します。また、活動量計リーダーを置く民間施設では、独自のサービスなどを工夫することで集客が見込め、参加者はお得なサービスを受けられるという双方にメリットがある仕組みを作ります。



その他、筋力が低下している人などには、医師会監修の介護予防体操を紹介するほか、大学生が講師となって開催する予定の介護予防教室をご案内します。

問い合わせ 高齢介護課（内線 183）、政策推進課（内線 588）